

今後の取組について

1. 全体の流れ(今後の予定)

	令和5年度 R6		令和6年度 R7						令和7年度
	2月	3月	春	6月～10月 (出水期)	12月	1月	2月	3月	春
木津川上流部 減災協議会			R6.4.30 ✓減災にかかる取組方針の確認、 進捗状況・取組事例の共有 等 報告						(出水期前予定) ✓減災にかかる取組方針の確認、 進捗状況・取組事例の共有 等 報告
木津川上流部 減災協議会幹事会 (奈良圏域ブロック・ 三重・京都圏域ブロック)			[水防災意識社会再構築ビジョン] ✓出水期前までに、“取組方針”の進捗状況とりまとめ、流域タイムラインへの意見とりまとめ等	✓木津川上流部における減災にかかる具体的な取組について ・取組方針に対する進捗状況の共有 ・水防に係る現状と課題について意見交換 ・流域タイムラインに基づく取組（水防災コミュニケーション会議等） 等					[水防災意識社会再構築ビジョン] ✓出水期前までに、“取組方針”の進捗状況とりまとめ、流域タイムラインへの意見とりまとめ等
公表資料			協議会資料公開 (R6.4以降)						協議会資料公開

2. 取組方針に対する具体の取組について

○「水災害意識社会 再構築ビジョン」に基づく木津川上流部の取組方針（令和4年3月25日改定）【R3～R7年度】に対する取組の進捗を更に図るために、

木津川上流部減災協議会 幹事会（奈良圏域ブロック）（三重・京都圏域ブロック）で、具体の取組を行う。

◇取組方針に対する進捗状況の共有

◇水防に係る現状と課題について意見交換

◇流域タイムラインに基づく取組（水防テレビコミュニケーション会議）

◇構成機関が連携した取組

①まるごとまちごとハザードマップ整備（課題対応：E）

②住民一人一人のマイ・タイムライン、マイ防災マップの作成促進
（課題対応：D）

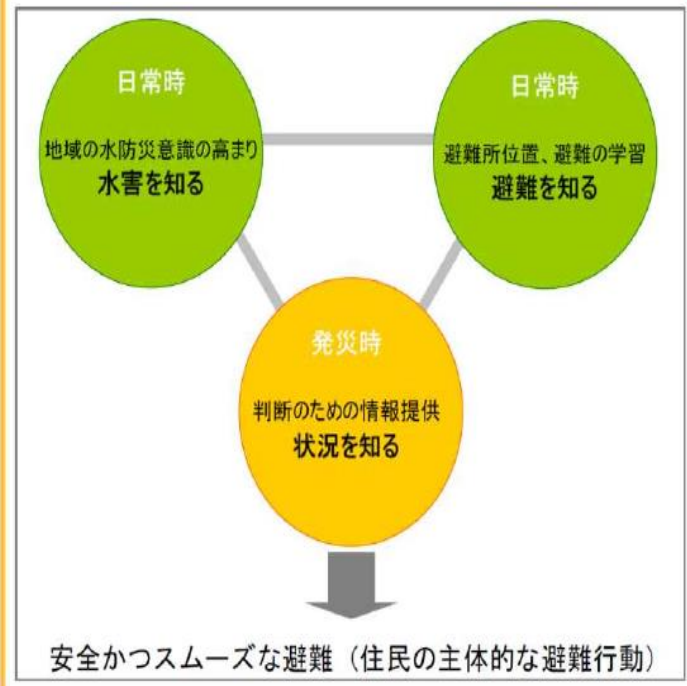
③毎年、水防団や地域住民が参加し重要水防箇所等水害リスクの高い箇所
の共同点検を実施（課題対応：H）※取組を行うための構成機関担当者
による点検（情報共有）

2-①. まるごとまちごとハザードマップの整備(1)

■まるごとまちごとハザードマップとは 自らが生活する地域の水害の危険性を実感できるよう、居住地域をまるごとハザードマップと見立て、生活空間である“まちなか”に水防災にかかわる情報を標示する取組。

目的

“まちなか”に表示することにより、日常時から水防災への意識を高めるとともに浸水深・避難所等の知識の普及・浸透等を図り、発災時には命を守るための住民の主体的な避難行動を促し、被害を最小限にとどめることを目指す



水害ハザードマップ

○: メリット・△: デメリット

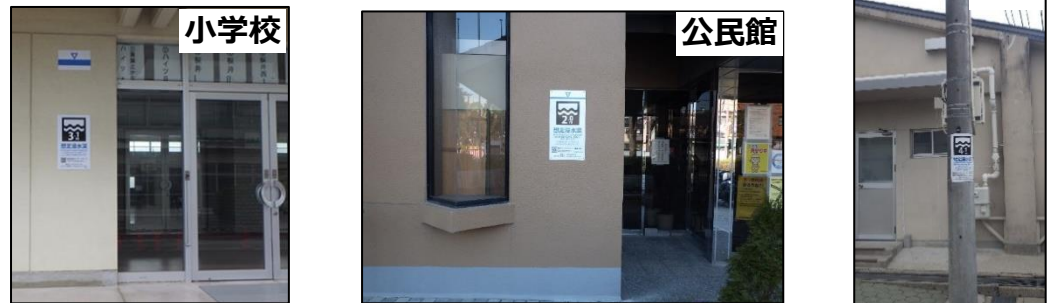
- : 自宅や勤務先などの知りたい場所の **浸水深**や近くの **避難所・避難場所**を確認できる
- : **アンダーパスや内水氾濫などの危険箇所**も確認できる
- : **避難に必要な多くの防災情報**について確認できる
「情報の取得方法」や「避難の目安」、「非常持ち出し品に関する情報」など
- : **防災教育や勉強会、避難訓練等で活用**できる
- △: **防災に興味が無い人は、浸水深を確認するまでに至らない可能性がある**
(意識しないとハザードマップは確認されない)
- △: **浸水の高さをイメージしづらい**

水害ハザードマップの内容を、それぞれの地域で具体的に、臨場感をもって認識し、避難の実効性を高める

○: “まちなか”にあるので **無意識に目に入る**
○: 日常生活上で視認されやすく **防災に興味が無い人でも浸水深や避難所などの情報を知ることができる**
○: **浸水深を感覚的に理解**できる



■まるごとまちごとハザードマップ設置例



2-①. まるごとまちごとハザードマップの整備(2)

■木津川上流管内における設置事例

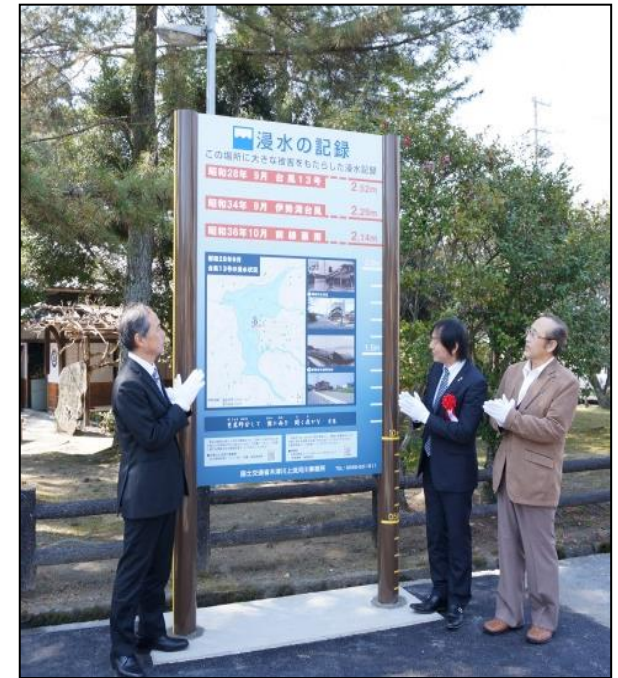
①伊賀市

伊賀鉄道・新居駅



②伊賀市

鍵屋ノ辻史跡公園前



関係自治体等と設置に向けた調整を進める

(木津川上流河川事務所)

■木津川上流管内における実施事例

①伊賀市 防災に関するワークショップ

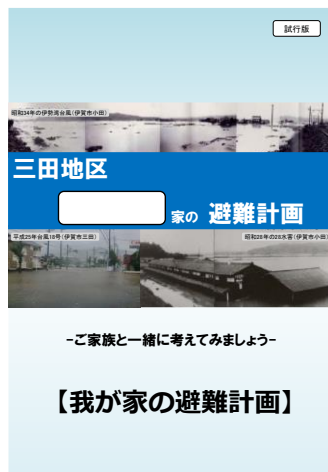
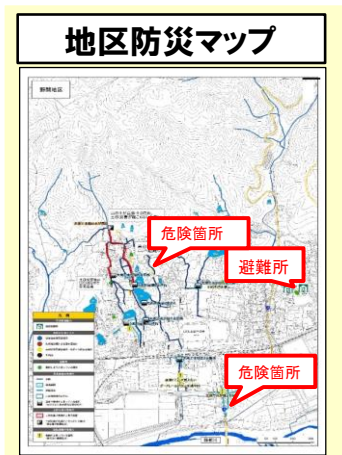
【メニュー】

- ①過去の豪雨における避難行動の確認
- ②「我が家の避難計画・地区防災マップ」の作成
(災害リスクの再確認、危険箇所の確認)
- ③地区で連携して助け合えることについて意見交換



開催状況

前回マップ作成後に気づいた危険箇所の確認



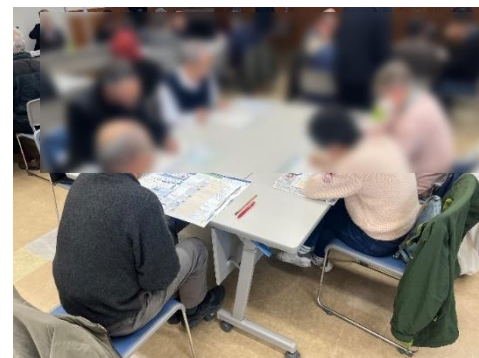
②名張市 マイ・タイムライン作成講習会

【メニュー】

- ①対談「適切な避難の重要性と水害に強いまちづくりについて」
：過去の被災状況や体験談も交えた、市長、気象キャスター、木津川上流河川事務所長による対談
- ②講演「近年の気象災害と情報の活用」：防災士でもある気象キャスターによるご講演
- ③マイ・タイムライン作成講習：キャスターによるマイ・タイムライン検討ツール「逃げキッド」を用いたマイ・タイムライン作成講習



キャスターによる
マイ・タイムライン講習



マイ・タイムライン作成の様子

関係自治体等と実施に向けた調整を進める

2-③. 重要水防箇所 の点検 (情報共有)

水防団や地域住民が参加し重要水防箇所等水害リスクの高い箇所の共同点検ができるための、構成機関担当者による点検 (情報共有) を実施

■ 重要水防箇所の情報共有と関係機関との共同点検 (情報共有) の実施イメージ

